

三重県月別人口調査（推計）結果の概要

1. 人口の概要

(1) 三重県の人口

平成元年10月1日現在の推計人口は、1,787,136人であった。これを前年（昭和63年10月1日）の推計人口1,775,148人と比べると、この1年間に11,988人の増加となり、その増加率は、0.68%で、前年の増加率0.48%と比較すると、0.20ポイントの上昇となっている。

男女別人口では、男867,161人（6,416人0.75%の増加）、女919,975人（5,572人0.61%の増加）となり、性比（女100人に対する男の数）は、前年の94.13から94.26になった。

また、市部・郡部別人口では、市部1,203,993人（10,575人0.89%の増加）、郡部583,143人（1,413人0.24%の増加）となった。

人口密度は、1平方キロメートル当たり309.32人となっている。

図1 月別人口推移

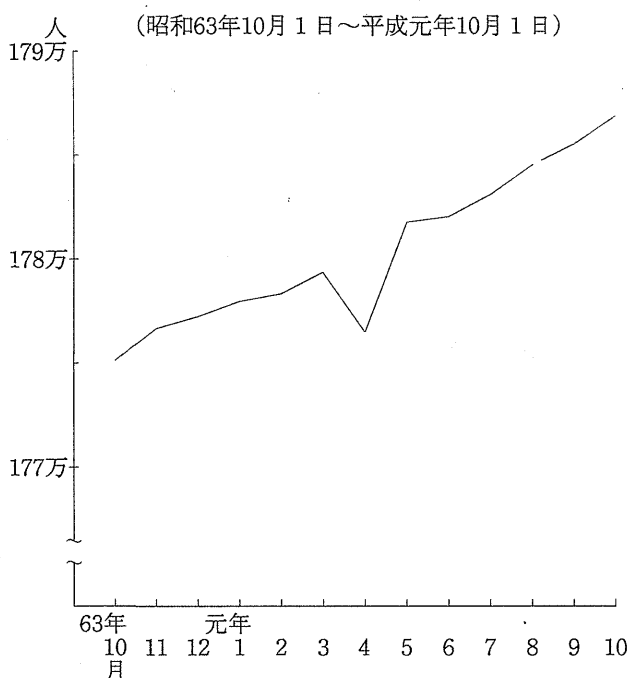


表1 人口比較表

	昭和63年	平成元年	増 加 数	増 加 率
	10月1日	10月1日		
	人	人	人	%
総 数	1,775,148	1,787,136	11,988	0.68
男	860,745	867,161	6,416	0.75
女	914,403	919,975	5,572	0.61
市 部	1,193,418	1,203,993	10,575	0.89
郡 部	581,730	583,143	1,413	0.24

表2 月別人口の推移（昭和63年10月1日～平成元年10月1日）

年 月 日	推 計 人 口			対 前 月 数	対 前 月 率
	総 数	男	女		
	人	人	人	人	%
63年10月1日	1,775,148	860,745	914,403	945	0.05
11月1日	1,776,447	861,509	914,938	1,299	0.07
12月1日	1,777,241	861,979	915,262	794	0.04
64年1月1日	1,778,203	862,501	915,702	962	0.05
元年2月1日	1,778,755	862,685	916,070	552	0.03
3月1日	1,779,153	862,840	916,313	398	0.02
4月1日	1,777,650	861,821	915,829	-1,503	-0.08
5月1日	1,782,064	864,622	917,442	4,414	0.25
6月1日	1,782,823	864,970	917,853	759	0.04
7月1日	1,783,392	865,187	918,205	569	0.03
8月1日	1,784,512	865,874	918,638	1,120	0.06
9月1日	1,786,448	866,922	919,526	1,936	0.11
10月1日	1,787,136	867,161	919,975	688	0.04

(2) 市町村別人口

三重県の人口を市町村別にみると、県下69市町村（13市、47町、9村）のうち四日市市が、272,380人と最も多く、県人口の15.24%を占めている。次いで鈴鹿市、津市、松阪市、伊勢市と続いている。

人口増減をみると、29市町村で増加し、40市町村で減少している。増加率の高い市町村は、名張市の5.18%を最高に、東員町、青山町、木曾岬町、長島町の順となっている。一方、減少率の高い市町村は、紀和町の3.04%を最高に、大内山村、宮川村、紀勢町、飯高町の順となっている。

人口密度については、桑名市の1平方キロメートル当たり1,702.60人が最高となっている。

表3 市町村人口順位（平成元年10月1日）

順位	市町村	人口	順位	市町村	人口	順位	市町村	人口
1	四日市市	272,380	24	北勢町	13,790	47	員弁町	8,424
2	鈴鹿市	173,877	25	大安町	13,694	48	阿山町	8,409
3	津市	154,289	26	一志町	13,027	49	紀宝町	8,349
4	松阪市	118,466	27	紀伊長島町	12,485	50	御園村	8,154
5	伊勢市	104,691	28	玉城町	12,306	51	大台町	7,946
6	桑名市	97,712	29	南勢町	11,707	52	藤原町	7,890
7	名張市	65,420	30	多度町	11,365	53	関町	7,269
8	上野市	60,226	31	海山町	11,297	54	木曾岬町	7,051
9	久居市	39,708	32	楠町	10,804	55	飯南町	7,006
10	亀山市	37,306	33	多気町	10,225	56	浜島町	6,976
11	菰野町	32,102	34	伊賀町	10,199	57	朝日町	6,771
12	尾鷲市	28,032	35	川越町	10,196	58	飯高町	6,703
13	鳥羽市	27,728	36	安濃町	10,130	59	大宮町	5,865
14	東員町	24,800	37	御浜町	10,011	60	大山田村	5,708
15	熊野市	24,158	38	三雲町	9,931	61	勢和村	5,639
16	明和町	21,567	39	青山町	9,755	62	香良洲町	5,597
17	阿児町	21,221	40	大王町	9,751	63	紀勢町	5,264
18	嬉野町	17,695	41	磯部町	9,741	64	鵜殿村	4,692
19	河芸町	17,145	42	南島町	9,613	65	宮川村	4,541
20	小俣町	17,022	43	芸濃町	9,078	66	美里村	4,531
21	志摩町	16,170	44	度会町	9,072	67	鳥ヶ原村	3,039
22	白山町	15,067	45	美杉村	9,043	68	紀和町	2,042
23	長島町	14,518	46	二見町	8,984	69	大内山村	1,766

表4 人口増減数の多い市町村（昭和63年10月～平成元年9月）

順位	市町村	増加数(人)	順位	市町村	減少数(人)
1	名張市	3,224	1	尾鷲市	424
2	鈴鹿市	3,134	2	伊勢市	335
3	四日市市	2,523	3	熊野市	332
4	津市	1,627	4	久居市	231
5	東員町	1,179	5	鳥羽市	219

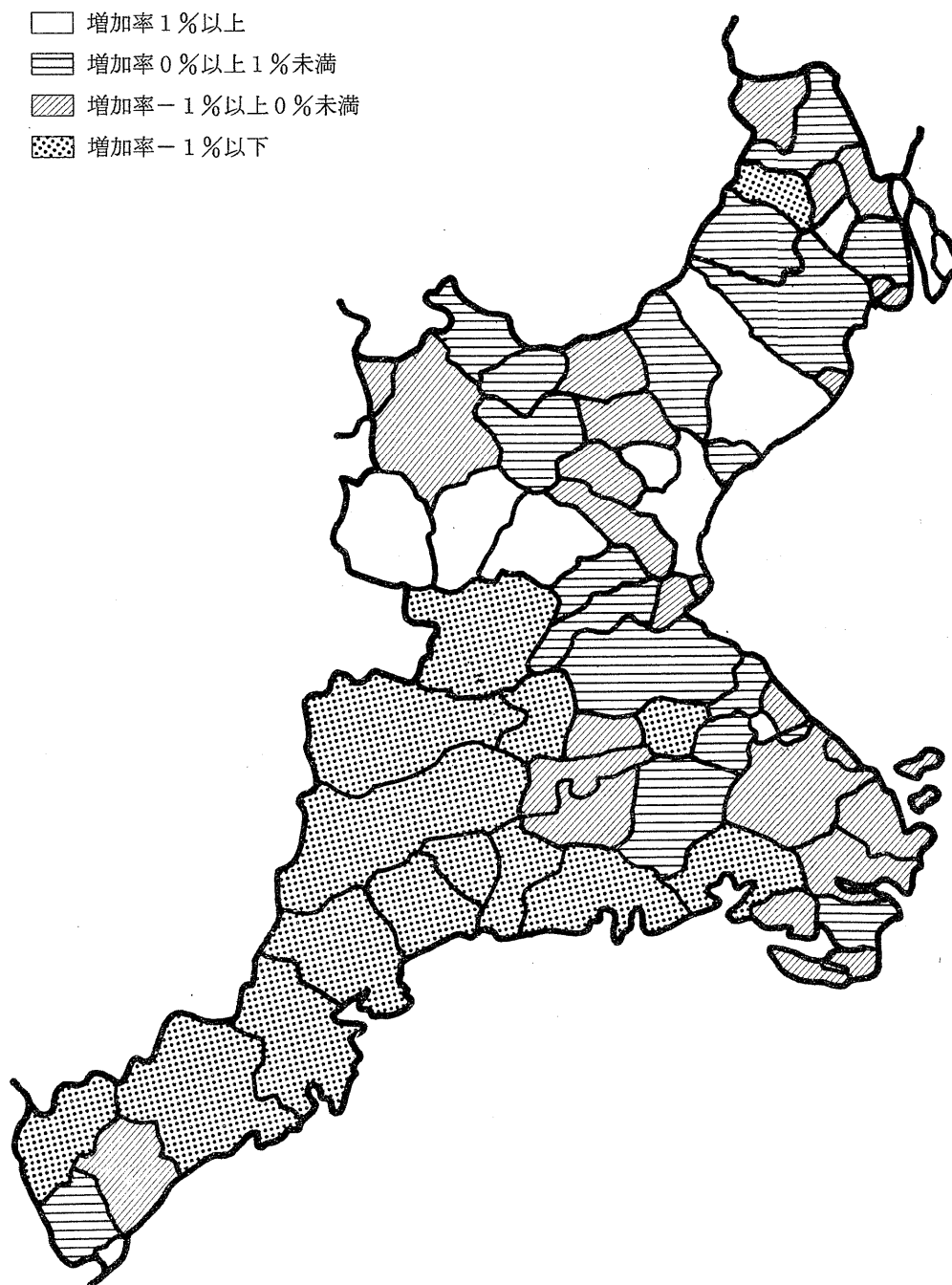
表5 人口増減率の高い市町村(昭和63年10月～平成元年9月)

順位	増加		減少	
	市町村	率(%)	市町村	率(%)
1	名張市	5.18	紀和町	3.04
2	東員町	4.99	大内山村	2.16
3	青山町	4.38	宮川村	2.07
4	木曾岬町	3.15	紀勢町	1.75
5	長島町	3.04	飯高町	1.64

表6 人口密度上位・下位市町村(平成元年10月1日)

順位	上位		下位	
	市町村	人/km ²	市町村	人/km ²
1	桑名市	1,702.60	宮川村	14.84
2	津市	1,517.85	紀和町	18.08
3	鵜殿村	1,508.68	大山田村	27.17
4	小俣町	1,446.22	飯高町	27.84
5	四日市市	1,381.73	美杉村	43.63

図2 市町村別人口増減率



2. 人口動態

(1) 自然動態

昭和63年10月1日から平成元年9月30日までの1年間における出生者総数は、18,328人（出生率1.03%）、死亡者総数は13,077人（死亡率0.73%）で、5,251人の自然増加（自然増加率0.29%）となった。

市町村別では、44市町村が自然増加を示し、23市町村が減少した。

なお、伊賀町と島ヶ原村は、ともに自然増加は0人であった。

表7 自然増減率の高い市町村（昭和63年10月～平成元年9月）

順位	増加			率(%)	順位	減少			率(%)
	市	町	村			市	町	村	
1	鈴鹿市			0.64	1	紀勢町			0.80
1	小俣町			0.64	2	紀和町			0.69
3	木曾岬町			0.62	3	美杉村			0.60
4	鶺鴒村			0.58	4	大内山村			0.51
5	御薊村			0.53	5	宮川村			0.48

(2) 社会動態

昭和63年10月1日から平成元年9月30日までの1年間の転入者総数（県内間移動を含む）は、73,963人、転出者総数（県内間移動を含む）は、68,162人であった。また、県外からの転入者数から県外への転出者数を差し引いた転入超過数は、6,048人で0.34%の転入超過率（前年10月1日現在の推計人口に対する県外転入者から県外転出者を差し引いた数の比率）であった。

なお、昭和63年の住民基本台帳人口移動報告年報（総務庁統計局）によると、転入超過率（0.19%）は全国第8位で、昭和62年の転入超過率（0.16%）を上回っている。また、当該移動報告年報が開始された昭和29年以降の推移を見ると、昭和46年までは一貫して転出超過となっていたが、その後、転入超過と転出超過を数年周期で繰り返している。

表8 社会増減率の高い市町村（昭和63年10月～平成元年9月）

順位	増加			率(%)	減少			率(%)
	市	町	村		市	町	村	
1	名張市			4.50	紀和町			2.55
2	東員町			4.28	大内山村			1.76
3	青山町			4.18	宮川村			1.72
4	長島町			2.63	尾鷲市			1.67
5	木曾岬町			2.43	飯高町			1.66

図3 月別人口動態（昭和63年10月～平成元年9月）

